

祇園之洲砲台跡

発掘調査 現地説明会



イギリス艦隊を砲撃する祇園之洲砲台
『薩英戦争絵巻』より（尚古集成館蔵）

「祇園之洲砲台」とは

祇園之洲砲台は、1853（嘉永6）年に島津斉彬が築いた砲台です。薩英戦争時の一番の激戦地で、砲台はことごとく破壊されたといわれています。欧米列強の力を見せつけられた薩摩藩は、この戦争をきっかけにして、急速に近代化を進めていくこととなります。



敷きつめられた石（基礎石？）

「九州・山口の近代化産業遺産群」を世界遺産に！

日本は、幕末以降、西洋以外の地域で初めて、それも極めて短期間に飛躍的な近代化を遂げました。中でも、島津斉彬によって1850年代に開始された集成館で培われた技術は、日本の初期の近代化に大きく貢献したのです。本県を含む九州・山口の6県10市では、これら日本の近代化に貢献した遺産群の世界遺産登録を目指しています。

日時 平成22年11月6日（土）

午前10:00 ~ 12:00

午後 2:00 ~ 4:00

場所 祇園之洲砲台跡（石橋公園となり）
（鹿児島市清水町26番地）

お願い 車でお越しの方は、石橋公園の臨時駐車場をご利用ください。ただし、台数には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

